

学校生活アンケートを実施しました

先月14日に、生徒を対象として次のような学校生活アンケートを行いました。
 評定は、4が「そう思う」、3が「まあそう思う」、2が「あまりそう思わない」、
 1が「全くそう思わない」としました。

| 番号 | 評価項目 |
|----|---|
| 1 | 朝食は毎朝きちんと食べている。 |
| 2 | 先生や友達、地域の人に自分からあいさつをしている。 |
| 3 | 身だしなみ等、学校のきまりを守って生活している。 |
| 4 | 相談できる友達がいる。 |
| 5 | 相談できる先生がいる。 |
| 6 | 人の気持ち(立場)になって行動している。 |
| 7 | 本を1ヶ月に何冊読んでいるか。(5冊以上は4, 2~4冊は3, 1冊は2, 0冊は1) |
| 8 | 相手の話を最後まで聞いてから自分の考えや意見を言っている。 |
| 9 | 学校・学級の雰囲気はよく、安心して生活ができる。 |
| 10 | チャイム着席を守り、授業の最初と最後にはきちんとあいさつをしている。 |
| 11 | 掃除は(時間いっぱい又は隅々まで)本気でしている。 |
| 12 | 係・委員会活動は一生懸命やっている。 |
| 13 | ほぼ毎日家庭学習(宿題・セミナー・復習等)をしている。 |
| 14 | 体験や調べ学習を通して、進路や働くことについて自分の考えを持つことができている。 |
| 15 | 授業では、興味・関心のわく教材教具が準備されている。 |
| 16 | 授業では、学力や技能定着のために、前時の復習・ドリル・(小)テスト・宿題等が行われている。 |
| 17 | 道徳授業は題材や資料に工夫がなされ、様々な考えを知ることができる。 |
| 18 | 先生は、コミュニケーション能力(聞く力・話す力・読む力・書く力)を育てる工夫や努力をしている。 |
| 19 | 先生は、授業に遅れないよう教室へ来ている。 |
| 20 | 先生は、親身になって相談に乗ってくれます。 |

《分析》

1番の「朝食を毎朝きちんと食べている。」という質問に対して、90%の生徒が4又は3と評定しており、概ね朝食はきちんと食べているようです。残り10%の生徒も「朝ごはんをしっかり食べる」ことをぜひやりきってほしいものです。朝ごはんをしっかり食べることによって、脳が活性化しますし、体力的にも健康な体をつくるためにも、朝ごはんはしっかり食べてほしいと思っています。ご家庭におかれても、ご協力をお願いします。

2番の「あいさつ」については、83.7%の生徒が、4又は3と回答しています。二中の生徒はよく挨拶をしてくれるという声を聞きます。よりさわやかな挨拶ができるよう意識して取り組みましょう。

3番の「学校のみだしなみ」については、86.1%の生徒が肯定的評価をしています。概ねみだしなみは守られているものの、決して十分とはいえません。全員が学校のルールを守っていくことが大切であると考えます。今後も継続して指導していきます。

4番の「相談できる友達がいる」という質問に対しては、86.9%の生徒が4又は3と回答していますが、5番の「相談できる先生がいる」という項目に対しての肯定的評価は、55.8%と

なっています。このことから、生徒同士は相談できる状況にあるようですが、生徒対先生の関係においては、まだまだ関係づくりが不十分なようです。今後、個人面接を行うなどして、相談しやすい雰囲気づくりをしていきたいと考えています。

6番の「人の気持ちになって行動している」ということについては、74.2%の生徒が4又は3と評価しています。人の気持ちを考えて行動することは、優しいようで難しいことです。でも人間関係づくりを行っていくうえにおいては、とても大切なことであると思っています。お互いにいたわり合いながら生活していくことは、集団生活には欠かせないことです。行動する前に少しでも相手の気持ちが考えられる心のゆとりがあるといいですね。

7番の「読書量」については、1ヶ月に2冊以上読んでいる人は39.6%しかいません。1冊も読んでいない人が23%もいることは、とても残念なことです。毎日の朝読書をはじめ、家でもテレビを見る時間を30分でも減らして、本を読む習慣を身につけてほしいものです。

8番の「相手の話を最後まで聞いて、自分の考えや意見を言う」ということについては、63.1%の生徒が4又は3と回答しています。このことは、相手の存在を大切にすることにもつながり、また、相手が何を言いたいのかをしっかり聞いて、自分の考えをまとめて言う力は、社会に出たときにも大いに役立つ力だと思います。意識して取り組みましょう。

9番の「安心して学校生活ができる」という質問には、65%の生徒が肯定的評価をしています。しかし、35%の生徒は「そう思わない」と評定しており、より楽しく安心して学校生活を送れるよう、取組みを進めていきたいと思っています。

10番の「チャイム着席・挨拶」については、86.3%の生徒が4又は3の評価をしており、さらに、全員が守れるよう継続指導していきます。

11番の「掃除を本気でしている」という項目については、72.2%が肯定的に評価しています。とはいえ、まだ18%近くの生徒が不十分であると判断しており、このことも毎日の掃除の時間における指導を通して、「掃除は、心を磨く活動である」を実践していきたいと思えます。

12番の「係・委員会活動」については、85.1%が「一生懸命している」と評価しており、さらなる指導を通して、集団の中における役割分担の大切さを体験させていきたいと思っています。

13番の「家庭学習」については、ほぼ毎日やっている人は69.4%であり、まだまだ時間不足であり、継続的な取組みになっていないようです。毎日短時間でも継続して家庭学習に取り組む生活リズムを確立してほしいものです。

14番の「体験や調べ学習を通して、進路や働くことについて自分の考えを持つことができる」という項目に対しては、67.6%が肯定的評価をしています。これからもより多くの生徒が具体的な活動を通して、しっかりした考えが持てるよう指導していきます。

15番の「授業では、興味・関心のわく教材教具が準備されている」ということについては、60.8%の生徒が肯定的評価をしています。さらに教材研究を進め、生徒の興味関心をひくような教材を準備する必要があるかと思えます。

16番の「学力・技能定着のためのドリル・小テストなどが行われている」ということについては、86%の生徒が肯定的評価をしており、概ね取組みがなされているようです。

17番の「道徳授業における工夫」については、65.9%の生徒が肯定的評価をしています。今後も教材や資料に工夫を加え、生き方が学べる授業づくりをしていきたいと思っています。

18番の「コミュニケーション能力を育てる工夫や努力」については、70.8%の生徒が肯定的評価をしており、「ことばの教育」として取り組んでいる成果が見られるようです。

19番の「先生は授業に遅れないよう教室へ来ている」ことについては、80.3%の生徒が肯定的評価をしているものの、約2割の生徒は不十分であると評価しています。今後も意識して取り組んでいきます。

20番の「先生は、親身になって相談に乗ってくれる」という項目については、56.8%の生徒が肯定的評価をしており、項目の5番とほぼ同じ数字となっています。より相談体制を整え、一人ひとりの相談に親身になって対応するよう心がけていきます。